



高森町立高森中学校だより 第306号
(令和6年度 第2号)
令和6年(2024年)6月7日

担当: 教頭 田中清一

「共に生きる」授業をめざして 研究はじめの会 学習ガイダンスなど



全校研究はじめの会 (5月2日)



食育に関する職員研修 (5月29日)



数学科の研究授業 (6月3日)



メディアリテラシー講演会 (5月24日)



学習ガイダンス (5月10日)

今年度、高森中学校では全職員、全生徒が心と力を合わせて『共に生きる』授業をめざして取り組みを進めています。そのために、職員も生徒に負けじと研修に励んでいます。5月2日(木)には、全校研究はじめの会を行い、「共に生きる授業」、「共に生きる学級」を創るうえで大切になる考え方や具体的な活動等を考え合い、確認し合いました。その後、5月10日(金)には、生徒へ向けての学習ガイダンスを行い、「共に生きる授業」を生徒と職員で「共に」創っていかうとの呼びかけが、研究主任からありました。

また、6月3日(月)には、研究授業(数学)を2年生と3年生の学級で行い、多くの職員が授業を参観し、ともどもに学び合いました。ちなみに、この研究授業に向けて、事前に2回行われた模擬授業に多くの職員が参加し、「共に生きる」取り組みにより授業が創られていきました。今後も、こうした取り組みを大事にしていきたいと思ひます。

【生徒の声より】

「共に生きる授業」、めっちゃ良いわ。全教科でこんな感じになったら、朝起きて学校へ行きたくないって思う割合が4%減少しそう。(Cさん)

国語の授業がありました。みんなでグループを作ってタブレットで調べたり、協力して問題を解いたりするものでした。私は3人グループを作って問題を解いていきました。協力することで、間違いやいろいろなことを指摘し合えるからいいなと思ひました。(Dさん)

社会で、第一次世界大戦後の英、米、仏、独、露、日の変化を思考ツールにまとめました。6つの国を1つの紙にまとめるのが大変だったけど、世界大戦のその後についてわかったのがよかったです。他の人も上手にまとめられていて、すごいと思ひました。(Eさん)

「しん（進・新・深）か」する生徒会を創る！ 生徒会総会

5月10日（金）、第1回生徒会総会が行われました。令和6年度の各委員会の活動案、生徒会予算案が審議、可決され、統合中学校創立60周年の記念すべき年の生徒会活動が本格的にスタートしました。

井上会長が折にふれて訴えているように、活動スローガン「しん（進・新・深）か」のもと、「小原ヶ丘憲法の心を大切にしたい生徒会」、「社会に貢献する高森中学校生徒会」をめざして活動していきます。



本気の大人はカッコいい しごと☆未来フェア開催



5月21日（火）、高森町と町教育委員会、中学校の共催による、第5回しごと☆未来フェアが行われ、2年生の皆さんが参加しました。町内外30の企業、団体の皆さんが、高森中学校の生徒のために、熱い思いと仕事

にかける本気の姿勢を、会社や団体の業務内容の説明のことばにこめて伝えてくださいました。

【生徒の声より】

あまり将来のことは考えていなかったけれど、今日の仕事のお話を聞いて、「この仕事いいな〜」とか「この仕事おもしろそう！」っていう思いが出てきて、将来のことをしっかり見つめ直すことができました。どの会社の人にも、この仕事についたきっかけがあって、そのきっかけを私も探したいと思いました。そして、今日はすごく楽しかったです！！（Aさん）

今までは、よくCMに出ている企業しか知らなかったけれど、たくさんの仕事や企業について知ることができ、話を聴くうちに、その企業の普段は見えないところが見えてきました。目標に向かって進化していこうとする人たちがこんなにいることに、驚きました。とても、かっこよかったです。（Bさん）

多くの方々の支えあってこそ高森中 小原ヶ丘CS PTA 作業ほか



小原ヶ丘コミュニティスクール
運営協議会（5月7日）



PTA 施設部環境整備作業
（5月19日）

今年度も、保護者の皆さん、地域の皆さんの高森中学校へ寄せていただく深い思いと、たくさんの具体的なお力添えに支えられて、学校づくりを進めております。いつも、本当にありがとうございます。

【今月のうた ～校歌の作詞者・窪田空穂の短歌より～】

われや母のまな子なりしと思うにぞ倦み^{いのち}生命も甦り来る（『まひる野』より、鹿鳴社、1905年）

